資料４－１

１．認知症初期集中支援事業の概要

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とする。

平塚市では、平成２９年度から実施している。

＊認知症初期集中支援チームとは

複数の専門職が家族の訴え等により、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント・家族支援などの初期支援を包括的、集中的（おおむね６か月）に行ない、自立生活のサポートを行うチームをいう。

２．訪問対象者の定義

40 歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で、以下のア、イのいずれかの基準に該当する方

ア 医療サービス、介護サービスを受けていない方

（１） 認知症の臨床診断を受けていない方

（２） 認知症の臨床診断を受けているが介護サービスが中断している方

イ 医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している方

認知症初期集中支援チームの「初期」という言葉の意味は、「①認知症の発症後のステージとしての初期病気の早期段階」の意味だけでなく、「②認知症の人へのかかわりの初期（ファーストタッチ）」という意味をもつ。すなわち対象となる認知症の人は初期とは限らず、中期であっても医療や介護との接触がこれまでなかった人も含まれる。

すでに認知症診断がなされ、「主たる支援機関」があり、継続して支援が行われている場合は対象外となる。

認知症なのか、精神疾患なのか、また双方が混在している認知症状なのか不明な場合も、上記に該当していれば対象となる。

また、「集中的」の意味は概ね６か月を目安に本格的な介護チームや医療につなげていくことを意味している。

平成３０年度　認知症初期集中支援事業　実績　（平成３１年１月までの実績）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
全相談数	4	6	7	5	12	3	4	5	3	3			52
対象者数	4	4	4	4	9	2	0	5	2	3			37
終了者数	0	0	0	1	0	3	7	0	1	4			16

H30対象者の性別と年齢

性別	～６４	６５～６９	７０～７４	７５～７９	８０～８４	８５～８９	９０～	計	
女	0	2	2	8	8	3	2	25	
男	0	0	1	3	5	3	0	12	37

支援終了（１６件）までのチーム員関与期間

週数	0	～８Ｗ	～１２Ｗ	～１６Ｗ	～２０Ｗ	～２４Ｗ	～２８Ｗ	２９Ｗ～	
件数	3	1	2	1	2	4	3	0	16

支援終了者１６件の訪問回数

回数	0	1	2	3	4	
件数	3	12	1	0	0	16

支援終了者１６件の引き継ぎ先

	認知症専門医・介護サービ	他医療機関・介護サービス	認知症専門医	他医療機関	介護サービ	地域の見守り・知人	施設入所	入院	なし	
件数	3	0	4	2	0	0	2	3	2	16

※拒否１、死亡１

支援終了者１６件の介護認定度

	要支援１	要支援2	要介護1	要介護2	要介護３	要介護４	要介護５	申請中	未申請	合計
件数	2	1	6	2	0	0	0	1	4	16

≪参考≫
神奈川県内における実績（平成３０年４月～１０月末）
設置チーム数　７８チーム　相談数　４６０件　１チーム平均約６件
平塚市　　１チーム　相談数　４１件